土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　主要地方道呉環状線　災害実施設計書作成に伴う業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　道路 掘削・掘削のり面

ボーリング名	H30-Br-22	**調査位置**	広島県呉市焼山町地先			**北緯**	34° 17′ 45.46″
発注機関	広島県西部建設事務所呉支所			**調査期間**	2019年 7月 29日 ～ 2019年 8月 1日	**東経**	132° 32′ 20.36″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**		**ボーリング責任者**	
孔口標高	T.P. 194.56m	**角度**	180° 上下 90° 0° 0°	**方位**	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90°	**使用機種**	
総削孔長	12.00m							**試錐機**	東邦地下工機 DO-D
								エンジン	YANMAR NFD-10	**ポンプ**	東邦地下工機 BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度－N値図	N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
0	193.91	0.65	礫混じり砂質土			茶褐				砂は細～中砂で細砂土体。φ5.0～20.0mm程の角礫を混入する。	6.80			1.15	3	3	4	10/300							
1											07/30 1.50		10	1.45											
										風化変質が著しく，指圧で容易に潰れ土砂状になる。			16	2.15	4	5	7	16/300							
2														2.45											
3						褐				花崗岩の風化部。風化変質が進行するも，岩組織を残す。採取コアはコア肌が粗く，ハンマーの軽打で崩れる。			88	3.15	30	20/70		50/170	170						
														3.32											
4													65	4.15	16	26	8/30	50/230	230						
														4.38											
5										風化変質が進行し，全体的に亀裂が発達し岩片～礫状で採取される。			71	5.15	19	26	5/10	50/210	210						7/29
						褐灰								5.36											
6										風化進行が著しく，砂状を呈する。鉱物の変質が			43	6.15	12	17	14	43/300							
														6.45											
7										風化の進行が著しく，マサ状を呈する。コアは指圧で容易に砕けるが，岩組織は明瞭に残す。			63	7.15	18	22	10/40	50/240	240						
														7.39											
8													94	8.15	27	23/60		50/160	160						7/30
						褐～淡褐								8.31											
9										採取コアは砂質土～細礫状を呈す。全体的に風化が進行し，岩質は軟質化する。鉱物の粘土化も見られる。岩級区分はDM～CHクラス。			500	9.10	50/30			50/30	30						
														9.13											
10													188	10.15	50/80			50/80	80						
														10.23											
11						黄褐				風化変質が著しく，熱水脈の影響で採取コアは白く粘土化された個所が目立つ。指圧で強く押せば潰れる。岩級区分はDM～DM_L			250	11.15	50/60			50/60	60						7/31
														11.21											
12	182.56	12.00											250	12.00	50/60			50/60	60						8/1
														12.06											